



つなぐ。ツクル。

# 2023年9月期第2四半期 決算補足説明資料

2023年5月

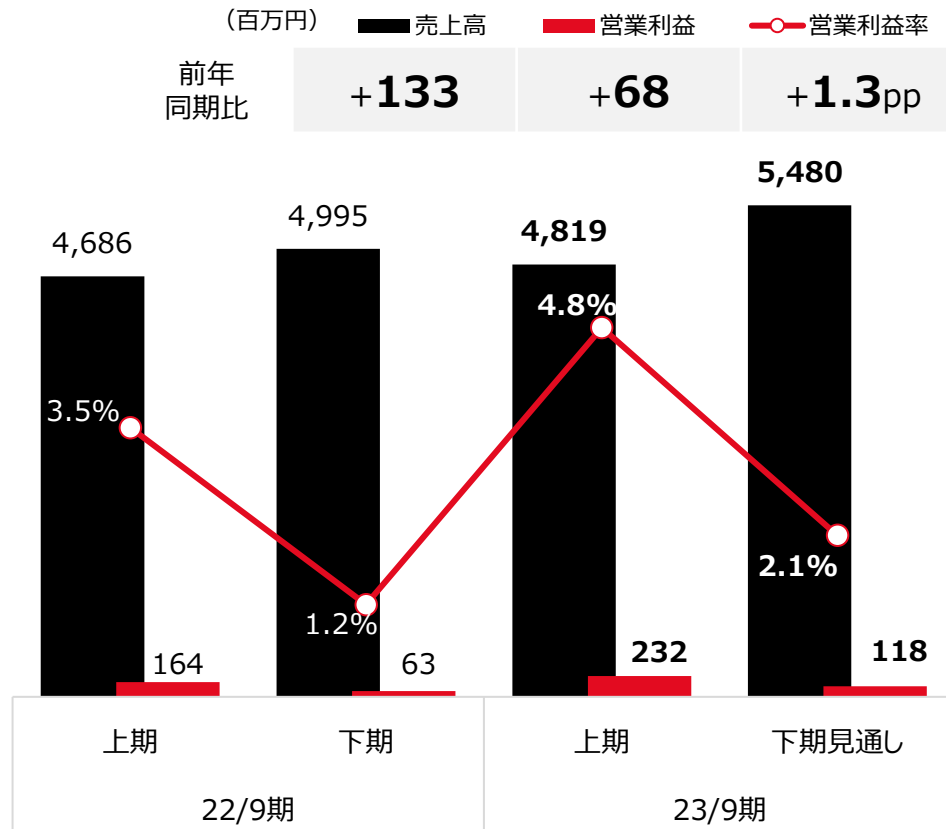
極東産機株式会社（6233 東証スタンダード）

**KYOKUTO**

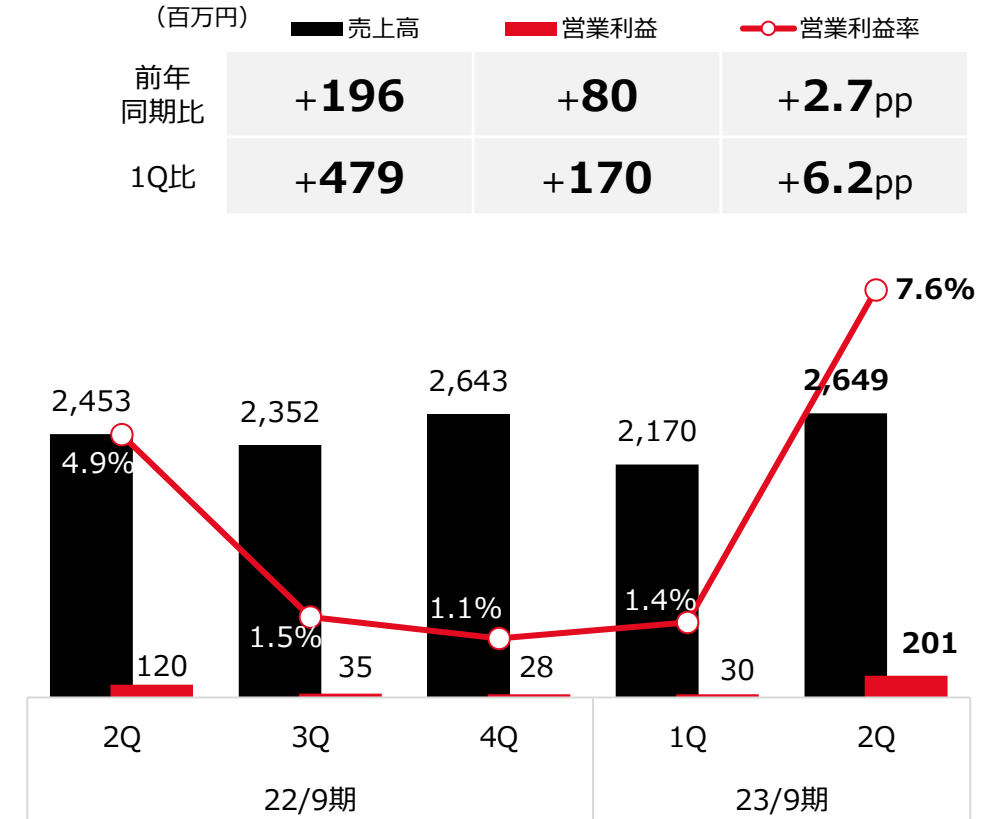
©KYOKUTO SANKI CO., LTD. all rights reserved

- 23/9期2Q決算はインダストリーセグメントが全社業績を牽引し、累計・単独ともに前年同期比増収増益
- 年度当初想定していなかった商号変更等に伴う経費が増加するものの、この結果を踏まえて23/9期通期見通しは現段階では変更せず

## 2023/9期2Q累計（半期推移）



## 2023/9期2Q（四半期推移）





# 中期ビジョン「ビジョン80」

1966年～ (創業は1948年)

極東産機株式会社

2023年10月～

KLASS株式会社

KLASSのコーポレートロゴマークは、あらゆるパートナーとKLASSとの「絆」を象徴  
STATEMENT「つなぐ。ツクル。」を表す2本の水平線・上昇線は、あらゆるパートナーを、KLASSが支える「手」を表現

**K L A S S**

**Kyokuto Life Advanced Solution Service**

Key Knowledge Love Lead Action Awesome Supreme Sincerity  
King Keep Link Legit Achieve Automatic Surprising Sustainable

- K 現社名のKを引き継ぎ、これまでの歴史や価値を大切にしてい  
キーとなる知識や技術で、一番を目指していく
- L コンシューマをはじめとする各事業を通じ、生活空間だけでなく生活そのものを豊かにする  
“人を想う技術”で業界をリードしていく
- A “高度”で“進歩した”技術を有する企業を目指す、技術開発型企業としての誇り・こだわりを表す  
果敢に挑戦し、素晴らしい成果を出していく
- SS 従来の「産業機械メーカー」から進化した、問題解決のためのモノとサービスを提供する存在になる  
超越した技術と誠実な対応で驚きをもたらす

## STATEMENT つなぐ。ツクル。

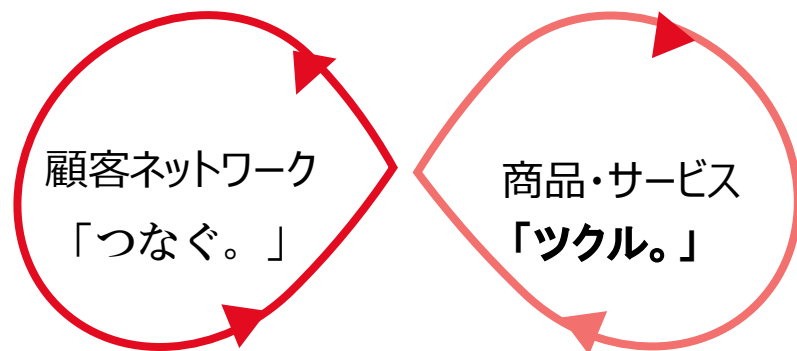
### これまで：

漢字四文字の機械メーカーとしてオリジナル製品を開発販売し、お客様の数を増やすとともに、お客様が求める商品を提供していく「市場」の創造をひたすら行ってきた。



### これから：

数多くのお客様をネットワークで結ぶことにより、二次元（線）更には三次元（面）の広がりが生まれ、そこに新たな商品・サービスを提供していく新たな「世界」が生まれてきた。  
もはや機械（ハード）だけではない、ネットワークを活用した多彩なソフト・サービスの提供も可能となるため、従来の社名で到達可能な事業領域を大きく逸脱する可能性が生まれてきた。



**ツクル**（商品・サービス） **つなぐ**（顧客ネットワーク）

**ツクル**（新たな商品・サービス） **つなぐ**（新たな顧客ネットワーク）

の好循環を最大の強みとして発展

オリジナル商品を生み出し続ける

「開発型機械メーカー」ならではの

ユニークな「**2.4次産業**」型企業を目指す

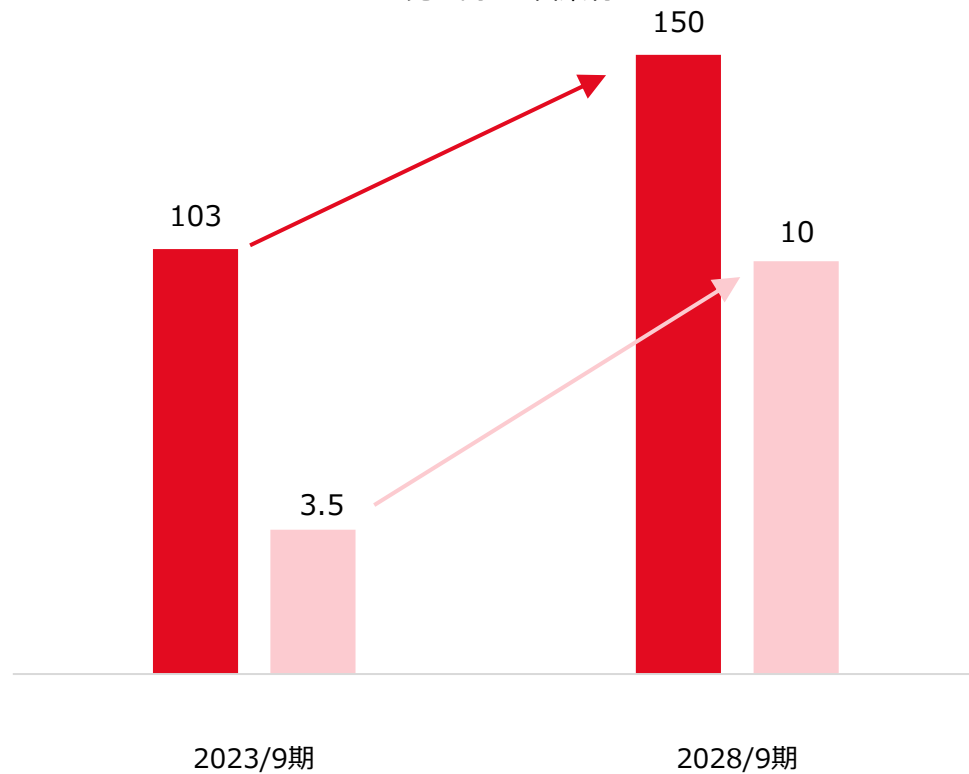
※「2.4次産業」とは  
製造業（2次）とサービス産業（3次）の互いの接近が  
コロナ禍を契機に加速するが、各々の基本的性格の転換  
までは行かず、2→2.4で、3→2.6で留まるであろうという  
一橋大学名誉教授伊丹敬之氏の言説

- 創業75周年を迎える2023/9期には念願の連結売上高100億円突破を、さらに5年後の2028/9期には連結売上高150億円、営業利益10億円に到達するべく、所要の施策を推進
- 目標達成のために、人的資本投資とDX投資を中心に積極的な成長投資を展開の方針

### 売上高目標

(億円)

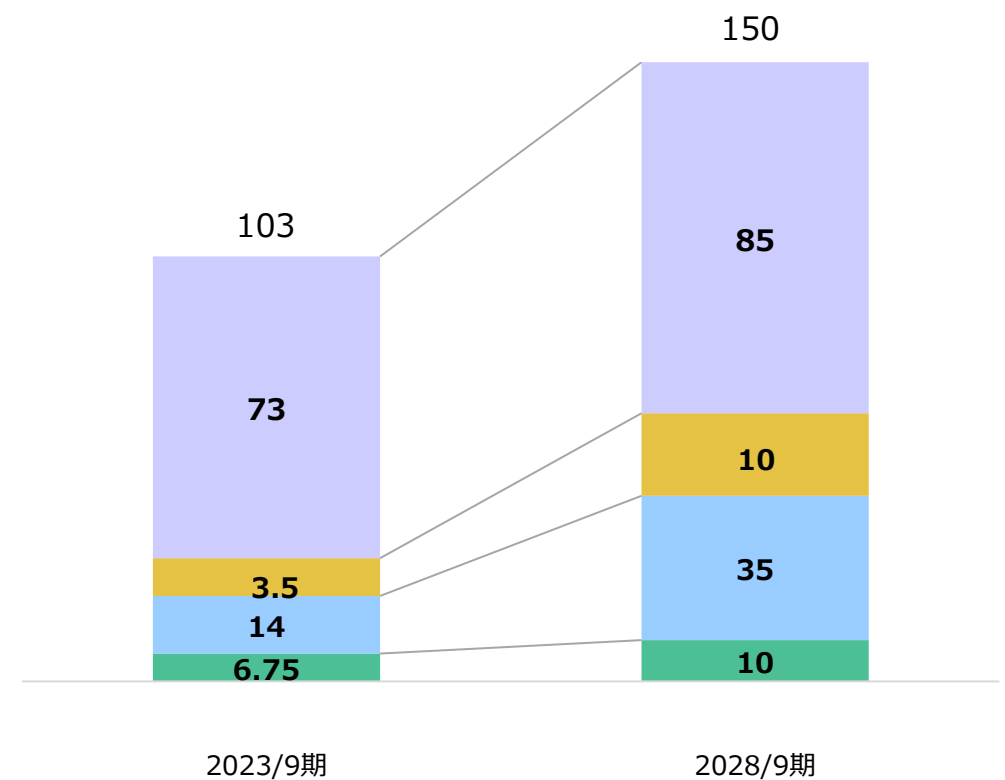
■ 売上高 ■ 営業利益



### セグメント別売上高目標

(億円)

■ ニューインダストリー ■ インダストリー ■ コンシューマ ■ プロフェッショナル



# 2023/9期2Q決算概要

# 2022年9月期2Q決算の概要

- 成長セグメントと位置付けるインダストリーセグメントが大きく伸長。プロフェッショナルセグメントでは値上げに伴うインテリア製品の採算改善も加わり、営業利益は前年比41%アップを達成。営業利益率は1.3ppアップの4.8%と、上場来最高を更新
- 通期見通しの進捗率も、営業利益では66%に到達。通期見通し達成の確度高まると認識

| (百万円)        | 2022/9期 |       | 2023/9期      |        |        | 2023/9期<br>通期見通し | 通期見通し<br>進捗率 |
|--------------|---------|-------|--------------|--------|--------|------------------|--------------|
|              | 上期      | 下期    | 上期累計         | 対前年同期比 |        |                  |              |
|              |         |       |              | 増減額    | 増減率    |                  |              |
| 売上高          | 4,686   | 4,995 | <b>4,819</b> | +133   | +2.9%  | 10,300           | 46.8%        |
| プロフェッショナル    | 3,650   | 3,816 | <b>3,557</b> | ▲93    | ▲2.6%  | 7,340            | 48.5%        |
| コンシューマ       | 358     | 381   | <b>380</b>   | +21    | +6.0%  | 910              | 41.8%        |
| インダストリー      | 408     | 569   | <b>698</b>   | +290   | +71.0% | 1,500            | 46.5%        |
| ニュー・インダストリー  | 268     | 226   | <b>183</b>   | ▲84    | ▲31.6% | 550              | 33.4%        |
| 営業利益         | 164     | 63    | <b>232</b>   | +67    | +41.3% | 350              | 66.4%        |
| プロフェッショナル    | 153     | 32    | <b>168</b>   | +15    | +9.9%  | —                | —            |
| コンシューマ       | ▲6      | ▲5    | <b>▲1</b>    | +5     | —      | —                | —            |
| インダストリー      | 18      | 61    | <b>80</b>    | +62    | 4.4倍   | —                | —            |
| ニュー・インダストリー  | ▲0      | ▲24   | <b>▲15</b>   | ▲15    | —      | —                | —            |
| 経常利益         | 150     | 43    | <b>189</b>   | +39    | +26.4% | 305              | 62.2%        |
| 親会社株主帰属当期純利益 | 97      | 45    | <b>127</b>   | +30    | +31.4% | 200              | 63.9%        |
| 営業利益率        | 3.5%    | 1.2%  | <b>4.8%</b>  | +1.3pp | —      | —                | —            |
| 経常利益率        | 3.2%    | 0.8%  | <b>3.9%</b>  | +0.7pp | —      | —                | —            |



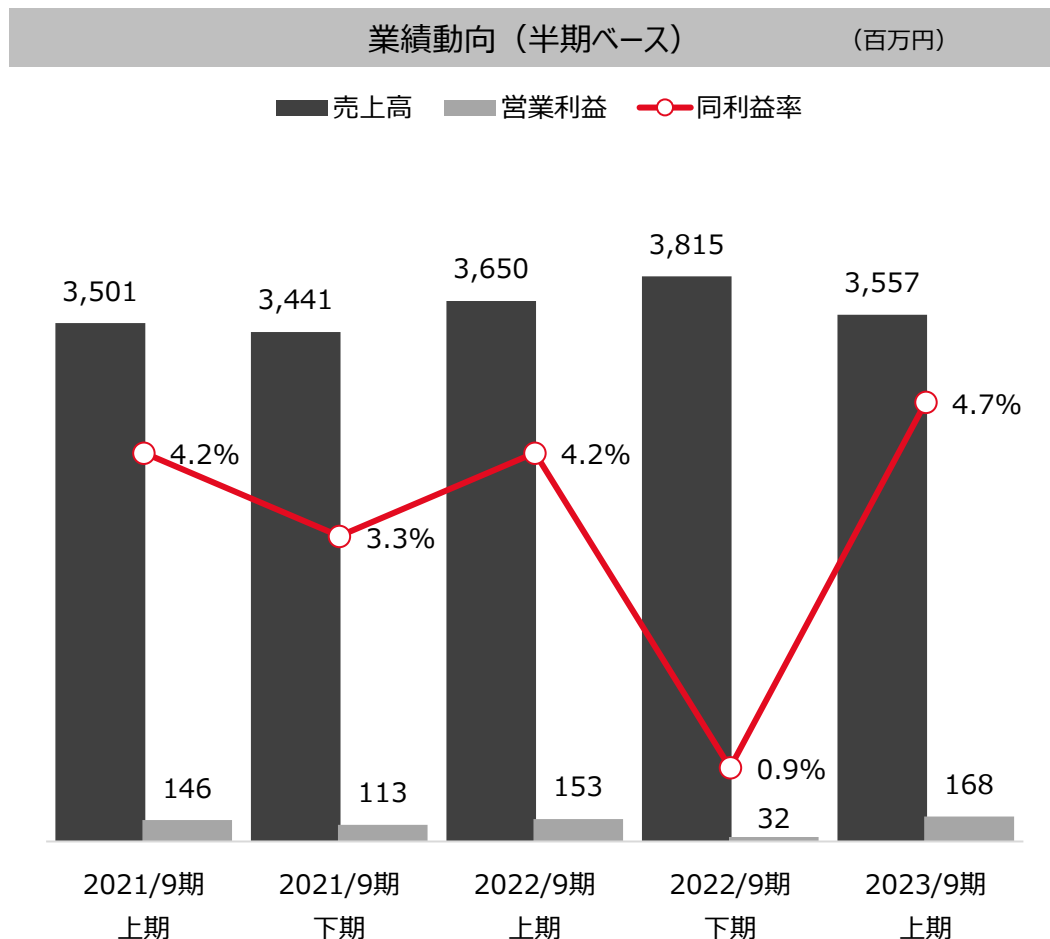
# 四半期業績推移

- 2Q期間のみでも前年比で増収増益。セグメント別ではニューインダストリーを除く全てのセグメントが増収増益（ニューインダストリーは減収なるも増益）
- 同じく2Q期間は営業利益でも全セグメントで黒字を確保。苦戦中のコンシューマ、ニューインダストリーの両セグメントも浮上。全社ベースの営業利益率は7.6%と、四半期ベースでは過去最高水準

| (百万円)       | 2022/9期 |       |       |       | 2023/9期 |              |
|-------------|---------|-------|-------|-------|---------|--------------|
|             | 1Q      | 2Q    | 3Q    | 4Q    | 1Q      | 2Q           |
| 売上高         | 2,233   | 2,453 | 2,352 | 2,643 | 2,170   | <b>2,649</b> |
| プロフェッショナル   | 1,739   | 1,910 | 1,772 | 2,043 | 1,593   | <b>1,963</b> |
| コンシューマ      | 196     | 162   | 197   | 184   | 198     | <b>181</b>   |
| インダストリー     | 141     | 267   | 279   | 290   | 300     | <b>398</b>   |
| ニュー・インダストリー | 155     | 112   | 102   | 124   | 76      | <b>106</b>   |
| 営業利益        | 43      | 120   | 35    | 26    | 30      | <b>201</b>   |
| プロフェッショナル   | 48      | 104   | 22    | 10    | 29      | <b>139</b>   |
| コンシューマ      | ▲0      | ▲5    | 0     | ▲5    | ▲2      | <b>1</b>     |
| インダストリー     | ▲5      | 24    | 29    | 30    | 27      | <b>53</b>    |
| ニュー・インダストリー | 1       | ▲2    | ▲16   | ▲8    | ▲23     | <b>8</b>     |
| 経常利益        | 30      | 119   | 26    | 16    | 20      | <b>169</b>   |
| 当期純利益       | 14      | 83    | 15    | 28    | 1       | <b>126</b>   |
| 営業利益率       | 1.9%    | 4.9%  | 1.5%  | 1.0%  | 1.4%    | <b>7.6%</b>  |
| 経常利益率       | 1.4%    | 4.9%  | 1.1%  | 0.6%  | 0.9%    | <b>6.4%</b>  |

# セグメント別事業の状況 ①プロフェッショナル

- 前年同期比減収増益。インテリア事業で値上げ前の駆け込み受注の反動減、畳事業ではものづくり補助金交付時期の影響により減収。利益面では価格効果（値上げ）により増益
- 営業利益率は前年同期比+0.5ppの4.7%に上昇



| 売上内訳 (百万円) | 2021/9期 |       | 2022/9期 |       | 2023/9期 |
|------------|---------|-------|---------|-------|---------|
|            | 上期      | 下期    | 上期      | 下期    | 上期      |
| インテリア      | 3,020   | 2,809 | 3,049   | 3,196 | 3,006   |
| 畳          | 476     | 624   | 589     | 616   | 548     |

## インテリア事業

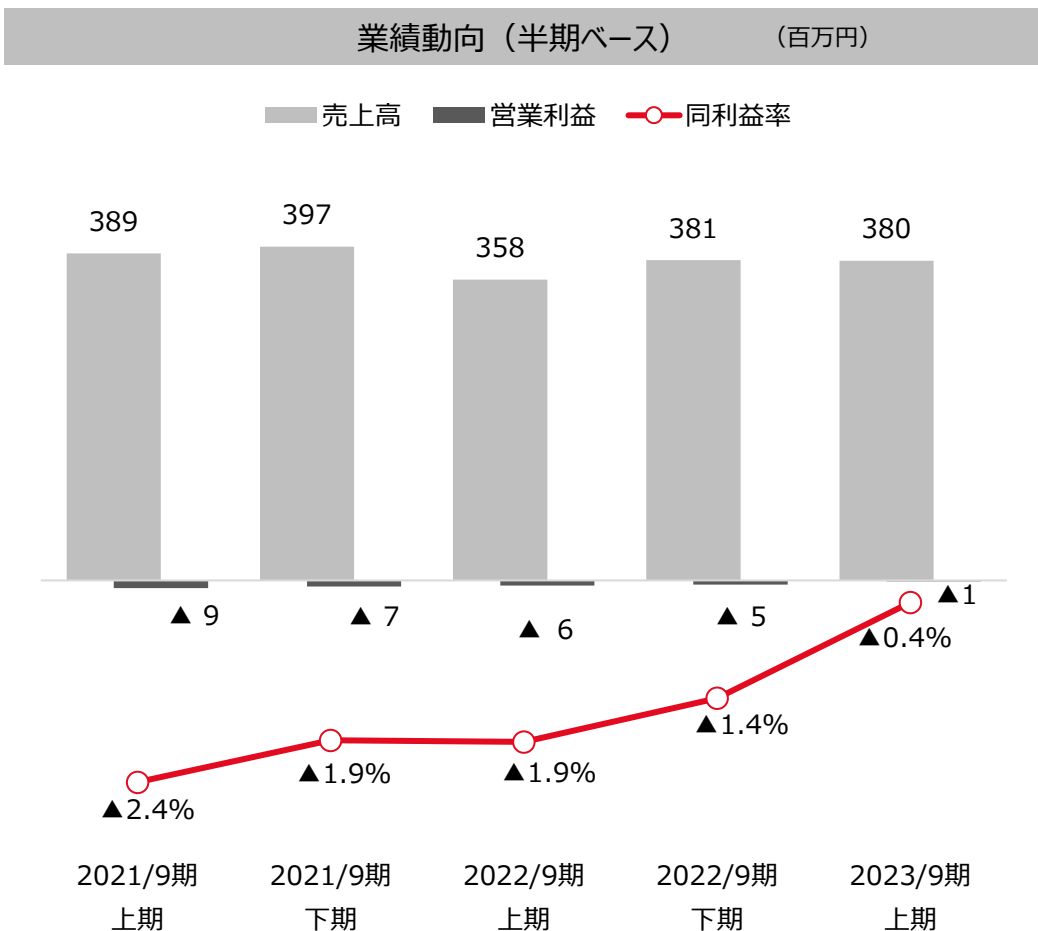
- ✓ 新総合カタログ発刊(2022/9)前にあった駆け込み受注の反動減が影響し、減収
- ✓ 損益的には、新価格導入による価格効果による採算改善で減収影響を吸収し、増益を確保
- ✓ コロナ禍一巡でリアル開催展示会に一部復活の動き

## 畳事業

- ✓ リモート営業方式での営業活動が定着
- ✓ ものづくり補助金申請による案件採択も順調
- ✓ ただし、補助金交付時期の影響等で売上の下期ずれ込みが発生。減収

# セグメント別事業の状況 ②コンシューマ

- 売上高横ばいで赤字継続。コンシューマ事業は好調ながら、ソーラー・エネルギー事業が低迷。但し、従前仕込みの中規模案件の収益化により、赤字は縮小



| 売上内訳<br>(百万円) | 2021/9期 |     | 2022/9期 |     | 2023/9期 |
|---------------|---------|-----|---------|-----|---------|
|               | 上期      | 下期  | 上期      | 下期  | 上期      |
| コンシューマ        | 300     | 274 | 294     | 279 | 295     |
| ソーラー・エネルギー    | 64      | 93  | 39      | 71  | 62      |
| 売電            | 24      | 29  | 23      | 31  | 22      |

## コンシューマ事業

- ✓ フィットネスクラブ向け防音・防振床材が好調を維持
- ✓ 一方、葬祭用畳や畳替えサービスは顧客獲得に要時間

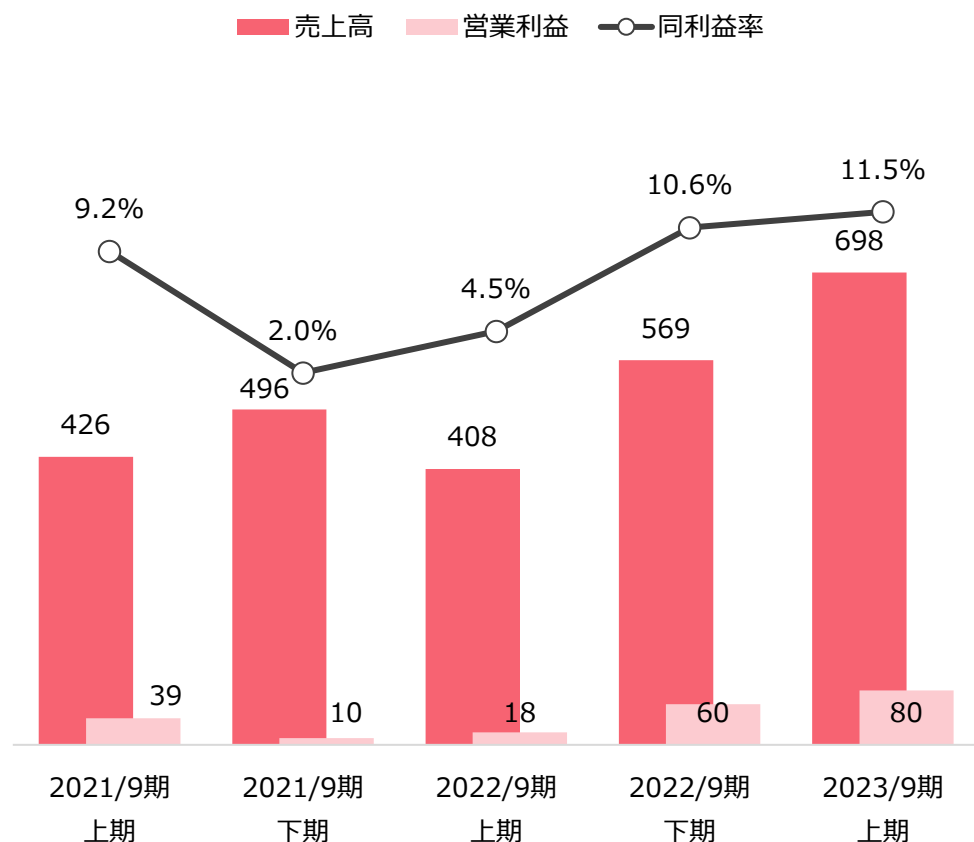
## ソーラー・エネルギー事業

- ✓ 中規模太陽光発電設備の工事着工。赤字縮小
- ✓ ただし、これは積み残し案件消化の色彩濃く、発電設備投資需要はほぼ一巡との見方は継続

# セグメント別事業の状況 ③ インダストリー

- 増収増益。産業機器事業は二次電池関連の大型リピート案件再開。二次電池以外の継続案件も獲得。食品機器事業も主力案件の引き合いが徐々に回復
- 営業利益率は11.5%の2ケタ台継続。前年同期比+7.0ppの急改善

業績動向（半期ベース） (百万円)



| 売上内訳 (百万円) | 2021/9期 |     | 2022/9期 |     | 2023/9期 |
|------------|---------|-----|---------|-----|---------|
|            | 上期      | 下期  | 上期      | 下期  | 上期      |
| 産業機器       | 322     | 382 | 289     | 386 | 583     |
| 食品機器       | 104     | 114 | 118     | 183 | 114     |

## 産業機器事業

- ✓ 二次電池製造装置のリピート受注再開。タイルカーペット梱包ライン設備も継続案件として獲得
- ✓ 総じて受注は好調。年間売上計画を超える規模をほぼ確保

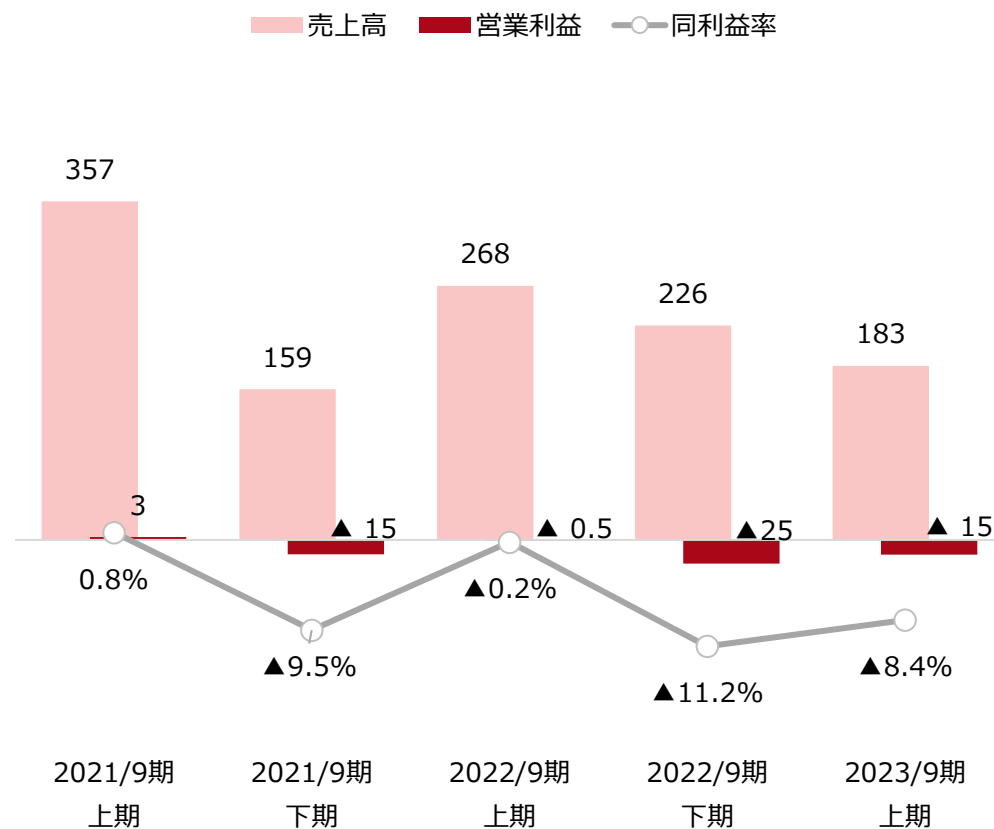
## 食品機器事業

- ✓ コロナ禍一巡による人流活動水準回復から、大手飲食チェーンからのマルチディスペンサーの引き合い回復

# セグメント別事業の状況 ④ニュー・インダストリー

- 減収。主力の自動車向けは設備投資需要の低迷続き伸び悩み。売上は損益分岐点に至らず営業赤字
- ただし、自動車販売は回復傾向にあり、利益率の高い機械消耗品の引き合いは着実に増加。2Q単独で黒字に転じるなど先行指標には明るさも

業績動向（半期ベース） (百万円)



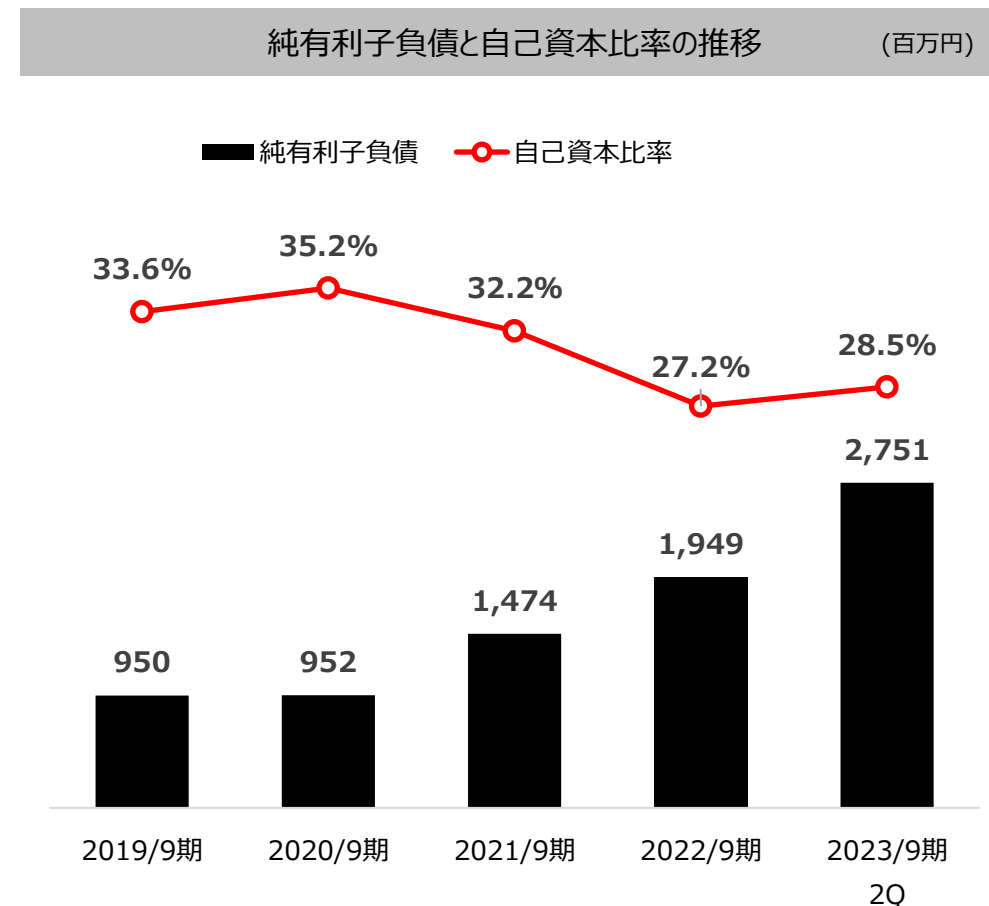
| 売上内訳 (百万円) | 2021/9期 |    | 2022/9期 |     | 2023/9期 |
|------------|---------|----|---------|-----|---------|
|            | 上期      | 下期 | 上期      | 下期  | 上期      |
| 機器         | 268     | 77 | 192     | 164 | 80      |
| 消耗品        | 89      | 81 | 75      | 63  | 102     |

- ✓ 自動車関連の設備投資はまだ回復途上。伸び悩み。売上水準は損益分岐点には至らず。営業赤字継続
- ✓ 大型案件獲得も、売上計上は次期以降
- ✓ ただし、消耗品については好調

# バランスシートの状況

- 前期末比では債権/債務の解消進み、総資産は若干縮小。自己資本比率は若干改善の28.5%
- 上期末の純有利子負債27億円。大型設備投資に伴い、4期連続で増加

| (百万円)   | 2021/9期 | 2022/9期 | 2023/9期<br>2Q累計 | 前期末比<br>増減 |
|---------|---------|---------|-----------------|------------|
| 流動資産    | 5,271   | 5,943   | 5,837           | ▲106       |
| 現預金     | 1,561   | 1,497   | 1,528           | +31        |
| 売掛債権    | 2,553   | 2,924   | 2,704           | ▲220       |
| 棚卸資産    | 1,107   | 1,341   | 1,489           | +148       |
| 固定資産    | 3,353   | 4,487   | 4,410           | ▲77        |
| 総資産     | 8,625   | 10,430  | 10,247          | ▲183       |
| 負債      | 5,844   | 7,589   | 7,325           | ▲264       |
| 買入債務    | 1,774   | 2,262   | 1,930           | ▲332       |
| 有利子負債   | 3,036   | 3,874   | 4,279           | +405       |
| 純資産     | 2,780   | 2,841   | 2,922           | +81        |
| 負債純資産合計 | 8,625   | 10,430  | 10,247          | ▲183       |



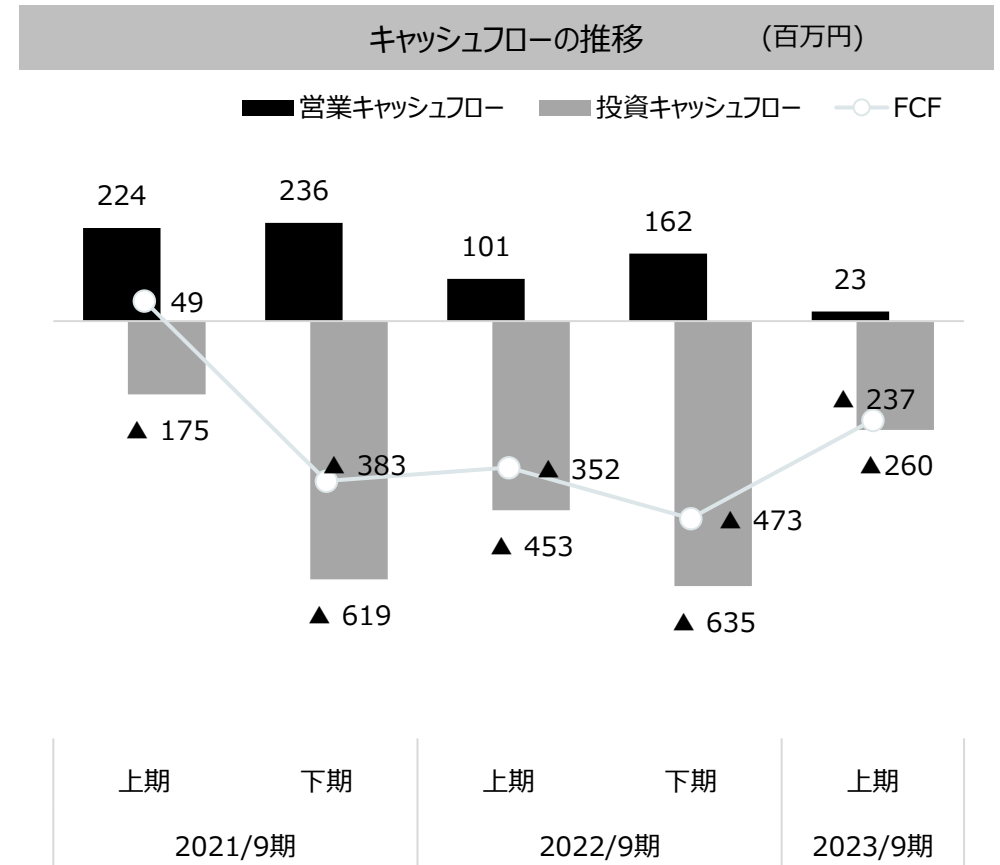
\* 純有利子負債=有利子負債残高-現預金 で算出

# キャッシュフローの状況

- FCFは4半期連続で赤字。神岡工場増設などの大型投資は縮小に転じたものの、営業CFの大幅減少の影響は避けられず
- FCFのマイナスは借入増で賄い、現預金をやや積み増し

| (百万円)   | 2021/9期 |      | 2022/9期 |      | 2023/9期 |
|---------|---------|------|---------|------|---------|
|         | 上期      | 下期   | 上期      | 下期   | 上期      |
| 営業CF    | 224     | 236  | 101     | 162  | 23      |
| 投資CF    | ▲175    | ▲619 | ▲453    | ▲635 | ▲260    |
| 固定資産取得  | ▲36     | ▲548 | ▲486    | ▲596 | ▲295    |
| 子会社株式取得 | ▲214    | -    | -       | -    | -       |
| FCF     | 49      | ▲383 | ▲352    | ▲473 | ▲237    |
| 財務CF    | 440     | 2    | 269     | 488  | 326     |
| 借入金変動   | 497     | 22   | 333     | 492  | 405     |
| 配当金支払   | ▲53     | -    | ▲53     | -    | ▲53     |

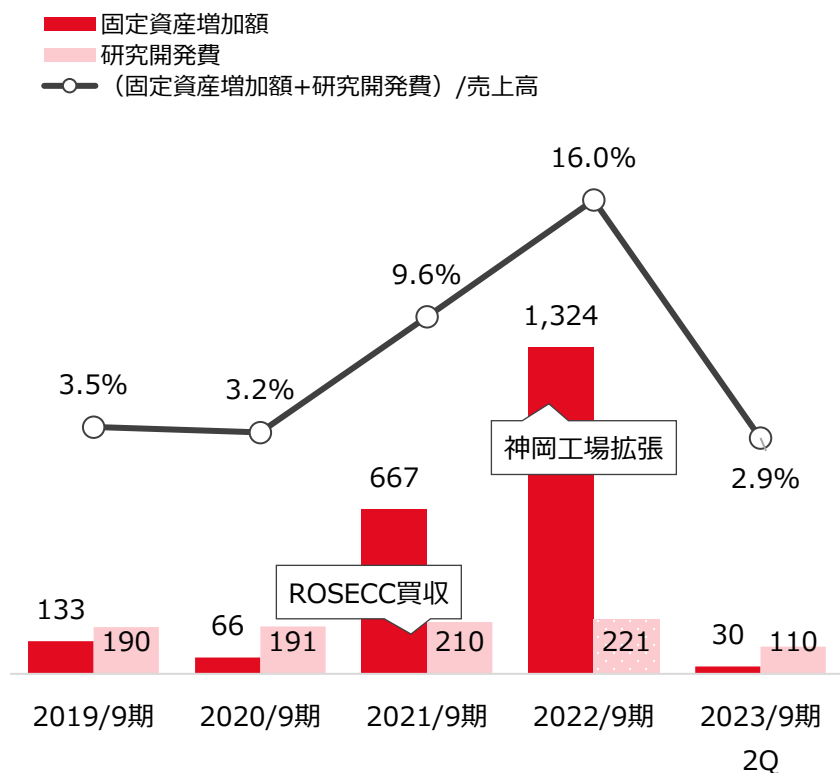
\* FCF=営業CF+投資CF で算出



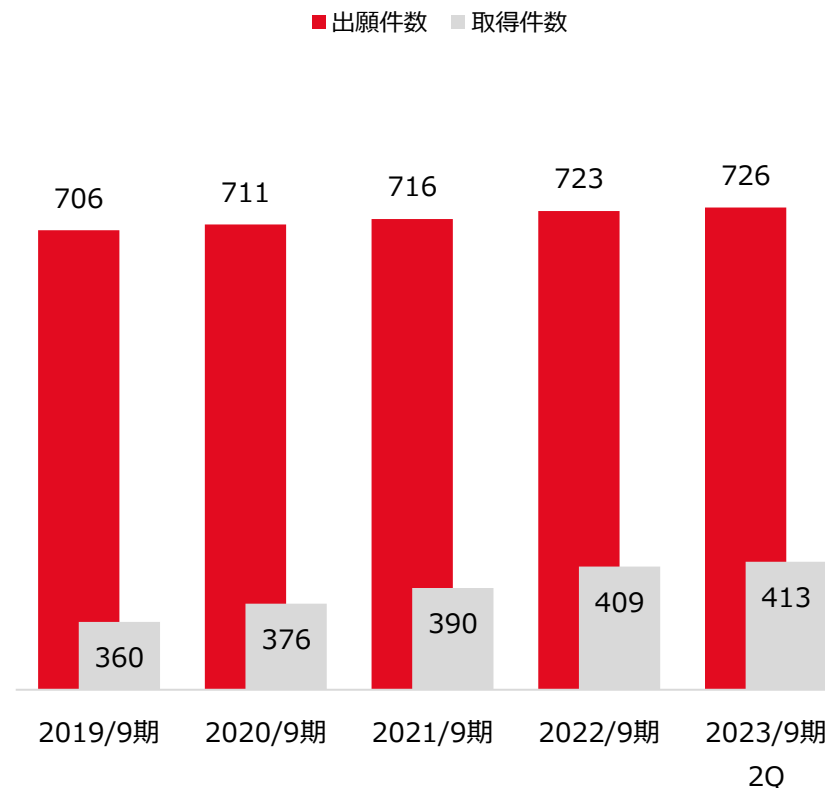
# 投資、特許件数の推移

- 大型投資の直後でもあり、投資・研究開発比率は大幅低下。研究開発については従来ペースで進捗
- 特許権の取得件数についても大きな変化なし

投資 & 研究開発費の推移 (百万円)



特許取得件数 (累計) の推移 (件)







# 2023/9期通期決算見通し

# 2023年9月期決算見通し

- 通期見通しは据置き。前期比増収増益を想定
- 下期のみの見通しでも前年同期比増収増益となる見込み。商号変更関連等により一時的なコストが高むものの、全体的に好調に推移していることの現れと承知

| (百万円)       | 2021/9期<br>通期 | 2022/9期 |       |       | 2023/9期 |              |               |        |            |
|-------------|---------------|---------|-------|-------|---------|--------------|---------------|--------|------------|
|             |               | 上期      | 下期    | 通期    | 上期実績    | 下期見通し        | 前年同期比<br>増減率  | 通期見通し  | 前期比<br>増減率 |
| 売上高         | 9,169         | 4,686   | 4,995 | 9,682 | 4,819   | <b>5,481</b> | <b>+9.7%</b>  | 10,300 | +6.4%      |
| プロフェッショナル   | 6,942         | 3,650   | 3,816 | 7,466 | 3,557   | —            | —             | —      | —          |
| コンシューマ      | 786           | 358     | 381   | 741   | 380     | —            | —             | —      | —          |
| インダストリー     | 923           | 408     | 569   | 978   | 698     | —            | —             | —      | —          |
| ニュー・インダストリー | 517           | 268     | 226   | 495   | 183     | —            | —             | —      | —          |
| 営業利益        | 280           | 164     | 63    | 228   | 232     | <b>118</b>   | <b>+87.3%</b> | 350    | +53.5%     |
| プロフェッショナル   | 259           | 153     | 32    | 186   | 168     | —            | —             | —      | —          |
| コンシューマ      | ▲16           | ▲6      | ▲5    | ▲12   | ▲1      | —            | —             | —      | —          |
| インダストリー     | 49            | 18      | 61    | 80    | 80      | —            | —             | —      | —          |
| ニュー・インダストリー | ▲12           | ▲0      | ▲24   | ▲25   | ▲15     | —            | —             | —      | —          |
| 経常利益        | 273           | 150     | 43    | 194   | 189     | <b>116</b>   | <b>2.7倍</b>   | 305    | +57.2%     |
| 当期純利益       | 189           | 97      | 45    | 143   | 127     | <b>73</b>    | <b>+62.2%</b> | 200    | +39.9%     |
| 営業利益率       | 3.1%          | 3.5%    | 1.2%  | 2.4%  | 4.8%    | <b>2.2%</b>  | —             | 3.4%   | —          |
| 経常利益率       | 3.0%          | 3.2%    | 0.8%  | 2.0%  | 3.9%    | <b>2.1%</b>  | —             | 3.0%   | —          |

# 2023年9月期決算 セグメント別見通し①

## プロフェッショナル

- 減収増益想定。インテリア事業は総合カタログ発刊前の駆け込み需要があった前期の売上を下回るが、同カタログの価格引き上げ効果で利益率は増加、畳事業はものづくり補助金に加え事業再構築補助金の活用が活発

## コンシューマ

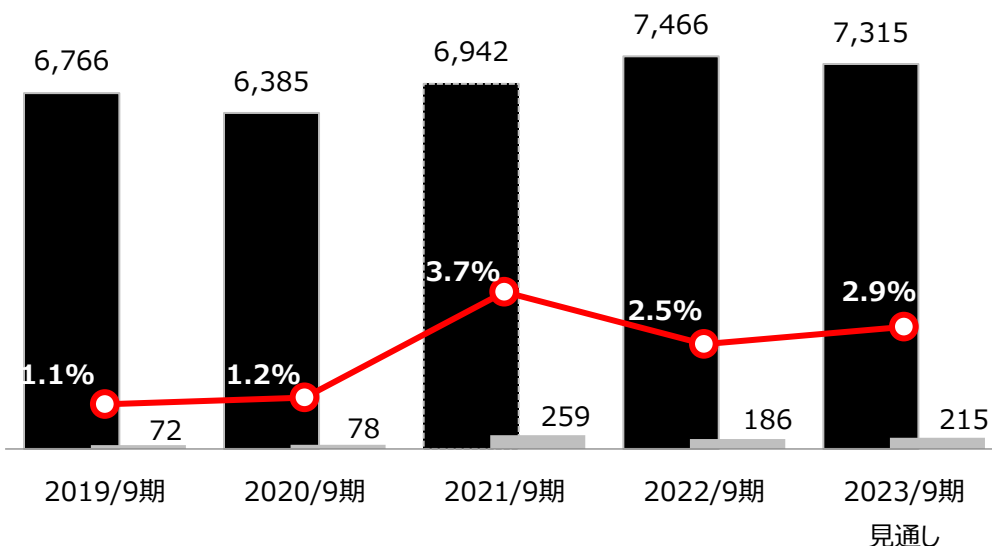
- 増収増益想定。コンシューマ事業はフィットネスクラブ向け防音・防振床材が好調を維持、ソーラーエネルギー事業はSDGs推進の観点から期待する法人向け市場の開拓はまだ不十分だが、中規模ソーラー案件の工事が増加

### プロフェッショナルセグメント

(百万円)

| 売上内訳  | 19/9期 | 20/9期 | 21/9期 | 22/9期 | 23/9期予 |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| インテリア | 5,771 | 5,343 | 5,829 | 6,245 | 6,175  |
| 畳     | 983   | 1,002 | 1,101 | 1,206 | 1,150  |

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率

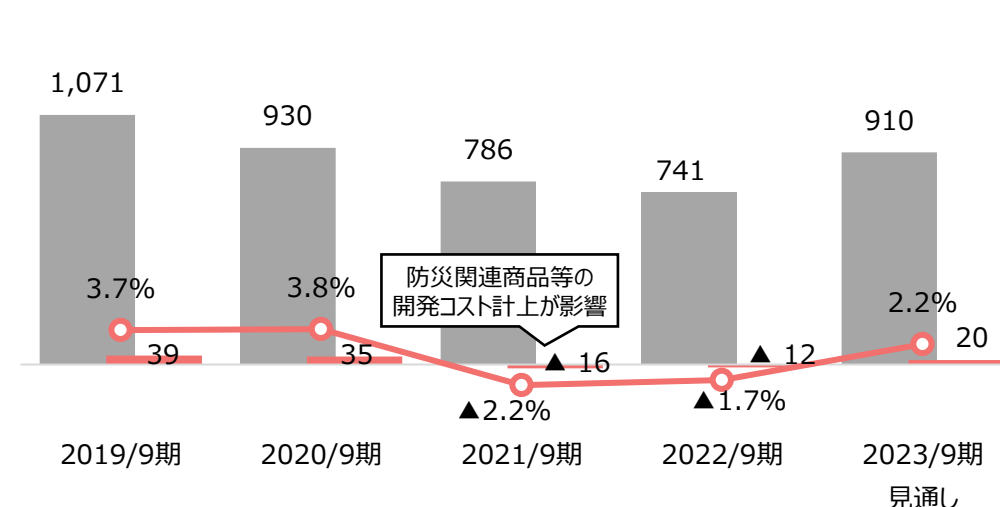


### コンシューマセグメント

(百万円)

| 売上内訳       | 19/9期 | 20/9期 | 21/9期 | 22/9期 | 23/9期予 |
|------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| コンシューマ     | 675   | 524   | 574   | 574   | 660    |
| ソーラー・エネルギー | 342   | 351   | 158   | 111   | 200    |
| 売電         | 52    | 53    | 53    | 55    | 50     |

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率



# 2023年9月期決算 セグメント別見通し②

## インダストリー

- 増収増益想定。主要製品である二次電池製造装置のリポート受注や、その他の生産設備案件の引き合いが増加し、既に年度売上目標を超える受注を確保、食品機器事業も大手飲食チェーンからの引き合いが回復

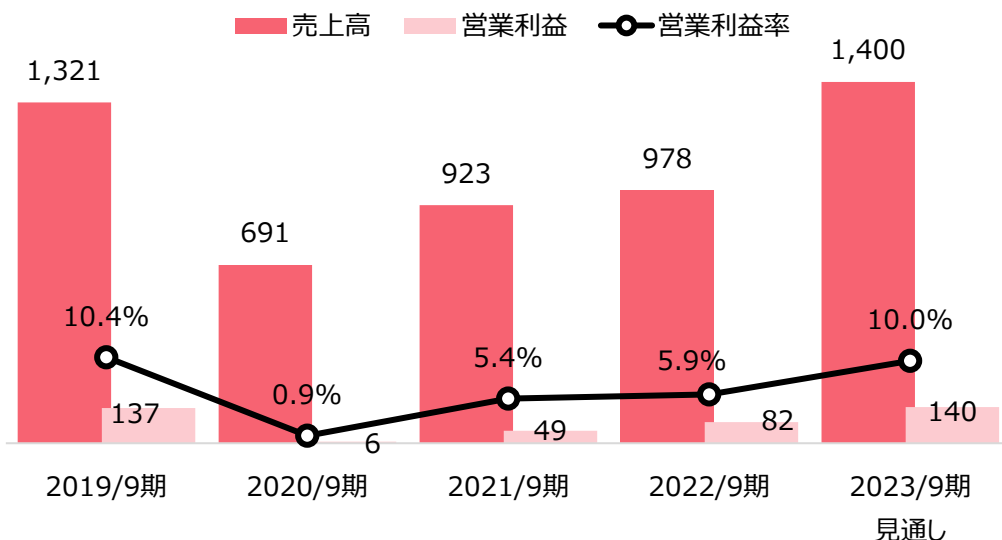
## ニュー・インダストリー

- 増収で黒字化を想定。自動車メーカーの工場稼働率上昇により消耗品の売上げが好調、今後大型機器の売上回復を期待。自社技術を活かせる新規分野として住宅設備関連業界の開拓を推進

### インダストリーセグメント

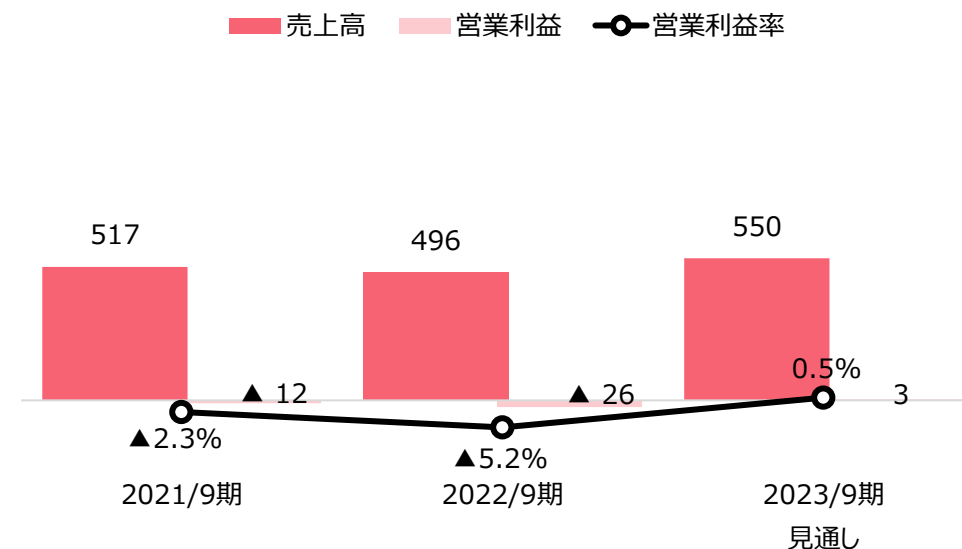
(百万円)

| 売上内訳 | 19/9期 | 20/9期 | 21/9期 | 22/9期 | 23/9期予 |
|------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 産業機器 | 1,049 | 471   | 704   | 676   | 1,150  |
| 食品機器 | 272   | 219   | 219   | 301   | 350    |



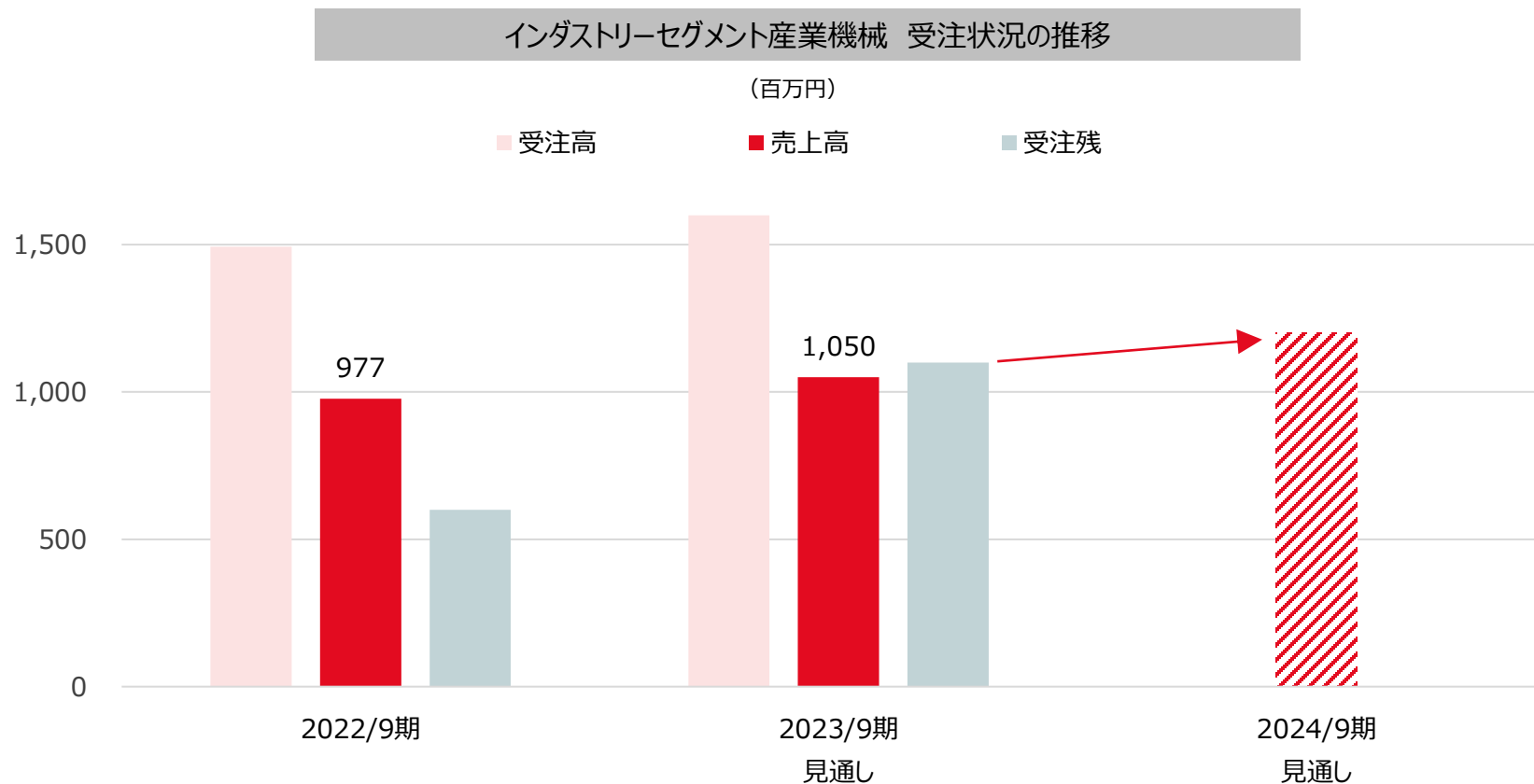
### ニュー・インダストリーセグメント

(百万円)



# インダストリーの受注動向

- 二次電池需要の世界的な高まり等を背景に産業機器事業の受注は増加。同時に翌年度以降の受注残も積み上がる状況にシフト
- 2023/9期末の想定受注残は10億超まで積み上がる公算が極めて大。既に翌2024/9期は当期売上げ見通しと同程度の売上を確保できている状況





THE PROFESSIONAL  
MACHINES AND TOOLS  
SINCE 1948

# トピックス

## 「粉ふるい攪拌装置」

### 株式会社御座候へ販売開始

- ✓ 「御座候」の原料である粉の粒度を揃えるためにまず「ふるい」にかけ、続いて攪拌させるもの
- ✓ 店舗のバックヤードにおける作業の効率化と作業環境の改善に貢献し、今後同社の各店舗に導入されることが期待される。まずは合計7台を納入済み
- ✓ 社長頃安は龍野商工会議所会頭（2022年11月～25年10月末）として、地元経済の活性化に資する案件にも注力する意向



粉ふるい攪拌装置



## 二次電池製造装置

### 大手エンジニアリング会社から受注中

- ✓ 電池の幅に合わせて電極のシートを裁断したり、巻き取ったりする工程に使用。アルミ箔などでできた極薄のシートを扱うため、当社の「切る」「巻き取る」コア技術を活用
- ✓ 搭載する製品によって規格が少しずつ異なり、細かなカスタマイズへの対応が必要
- ✓ 産業機器の売上高の約8割を占め、同部門の売上はここ10年で3倍に
- ✓ 2022年に18億円を投じて新工場を完成



※赤字で記載の工程装置を製造



THE PROFESSIONAL  
MACHINES AND TOOLS  
SINCE 1948

# Appendix

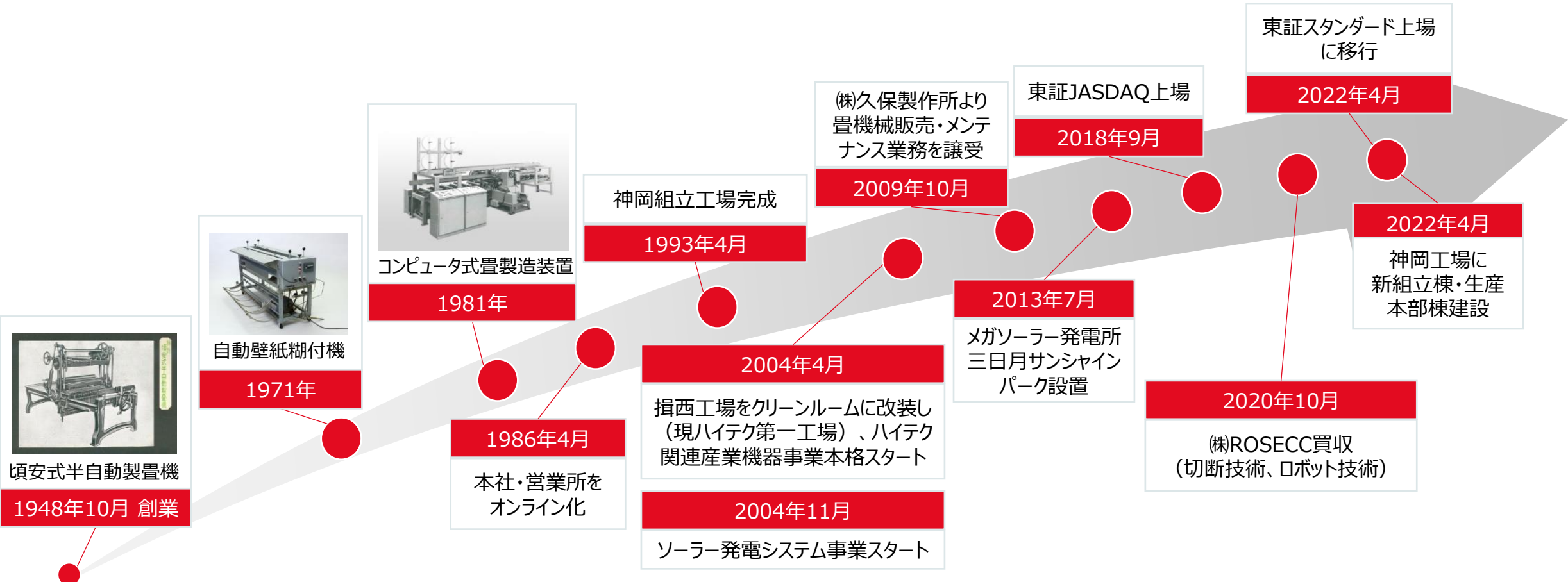


# 「極東産機」とは

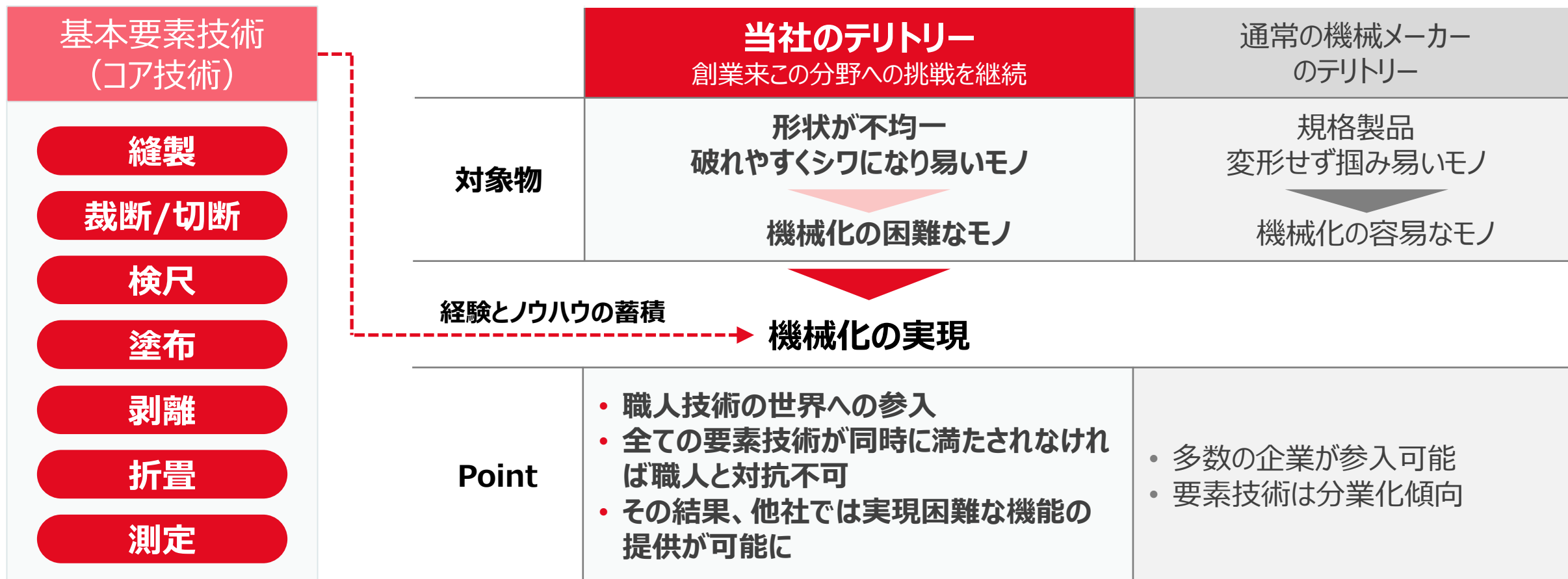
---

「職人」の世界に自動化・省力化技術を導入し（＝つなぐ。）、  
新しい市場を創造する（＝ツクル。）問題解決型マシナリー企業

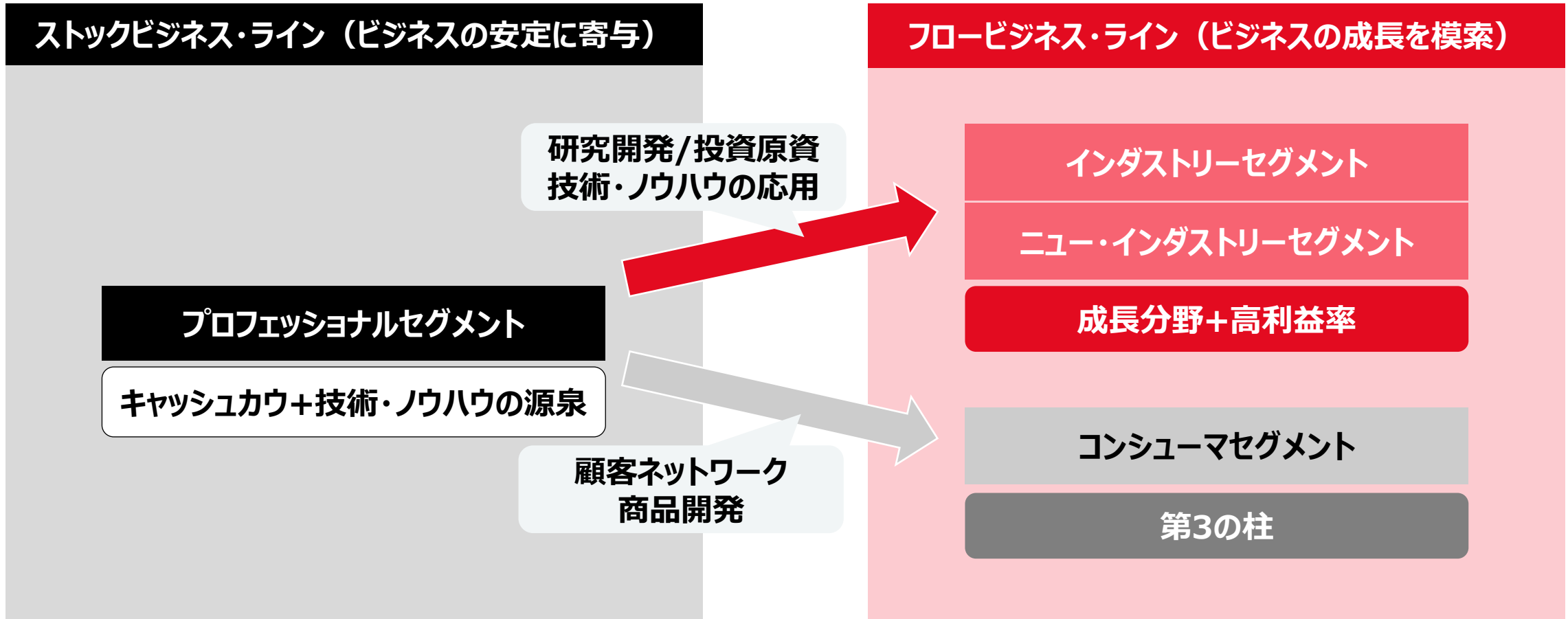
- 日本初のコンピュータ式畳製造装置、自動壁紙糊付機を開発し、職人の世界にいち早くコンピュータを導入
- 現在はハイテク分野、メガソーラー発電などにも事業を展開



- 7つの基本要素技術（コア技術）を有する稀有な会社
- 機械化が困難な職人の世界に当社は挑戦

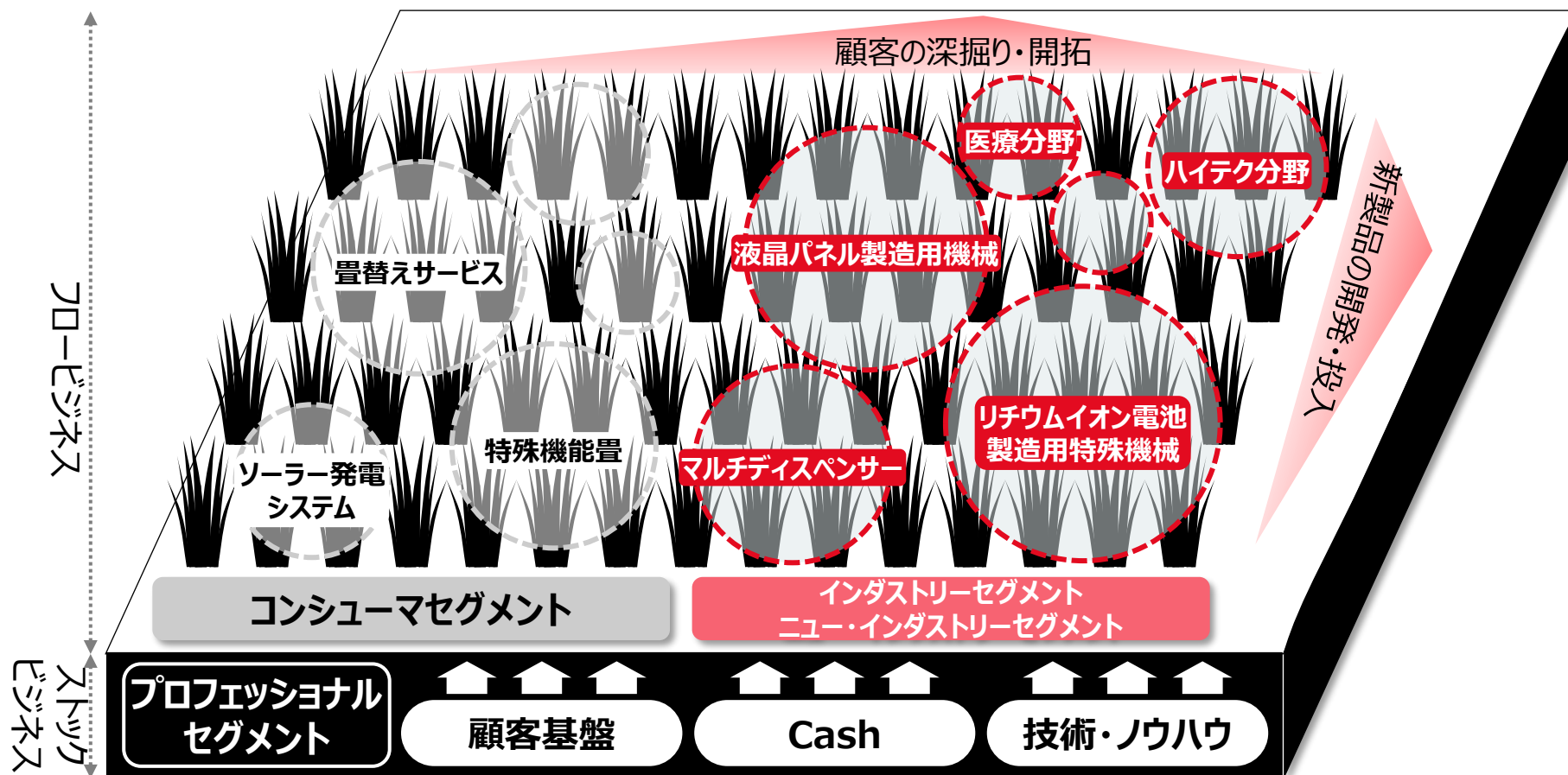


- プロフェッショナルからコンシューマ、インダストリー、ニュー・インダストリーへ
- キャッシュ・技術・ネットワークを供給し、会社全体の成長を図っていく仕組み



# (参考)ストックビジネス(=安定性)とフロービジネス(=成長性)の2本柱

- プロフェッショナルは「畑」、  
コンシューマ、インダストリー、ニュー・インダストリーは「果実」である !!



## 半導体・電子機器

### ● 液晶検査装置

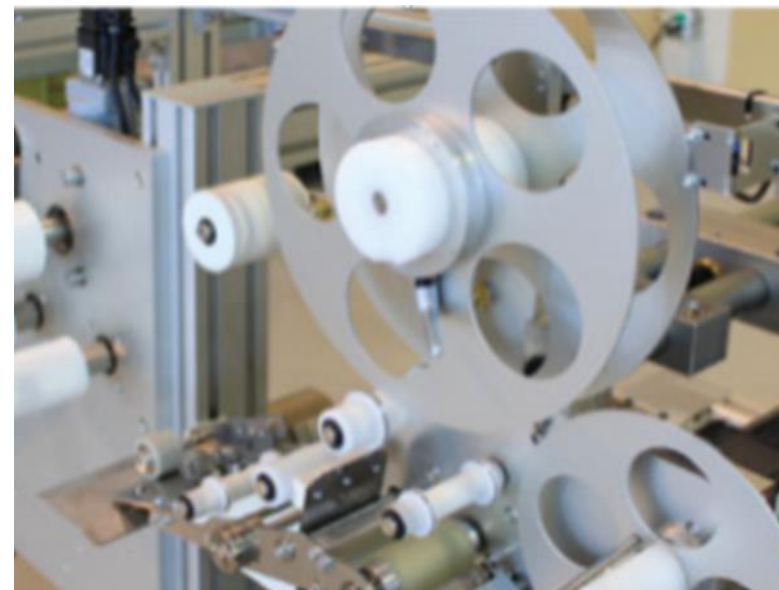
液晶パネルを構成するカラーフィルタ、アレイ、セルの検査を行う装置



## 医療

### ● IDタグ貼付装置

医療用品に、管理用のRFIDラベル(ICタグ)を連続して貼り付ける装置



## 建築

### ● ロックウール縫製装置

断熱材のロックウールを金属糸を使用して8本針で金網に連続縫製する装置



## 繊維・アパレル

### ● コンテナバッグ縫製設備

羊毛原料を搬送するときに使用する四角いコンテナ状バッグを縫製する設備



|                  |      | 2018年9月   | 2019年9月   | 2020年9月   | 2021年9月   | 2022年9月    | 2023年9月2Q  |
|------------------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|
| 売上高              | (千円) | 9,014,643 | 9,159,561 | 8,006,367 | 9,169,425 | 9,681,967  | 4,819,879  |
| 経常利益             | (千円) | 381,170   | 212,791   | 81,586    | 273,578   | 194,796    | 189,657    |
| 親会社株主帰属当期純利益     | (千円) | 303,342   | 144,681   | 67,685    | 189,534   | 143,422    | 127,855    |
| 資本金              | (千円) | 602,050   | 631,112   | 631,112   | 631,112   | 631,112    | 631,112    |
| 発行済株式総数          | (株)  | 5,235,000 | 5,391,000 | 5,391,000 | 5,391,000 | 5,391,000  | 5,391,000  |
| 純資産額             | (千円) | 2,573,862 | 2,696,681 | 2,673,643 | 2,780,993 | 2,841,288  | 2,922,802  |
| 総資産額             | (千円) | 7,962,550 | 8,023,664 | 7,591,862 | 8,625,240 | 10,430,851 | 10,247,912 |
| 1株当たり純資産額        | (円)  | 491.66    | 500.22    | 495.95    | 515.86    | 527.05     | 542.16     |
| 1株当たり配当額         | (円)  | 10.00     | 10.00     | 10.00     | 10.00     | 10.00      | -          |
| 1株当たり当期純利益金額     | (円)  | 71.40     | 26.90     | 12.56     | 35.16     | 26.60      | 23.72      |
| 自己資本比率           | (%)  | 32.3      | 33.6      | 35.2      | 32.2      | 27.2       | 28.5       |
| 自己資本利益率          | (%)  | 13.5      | 5.5       | 2.5       | 6.9       | 5.1        | -          |
| 配当性向             | (%)  | 14.0      | 37.2      | 79.6      | 28.4      | 37.6       | -          |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 341,141   | ▲64,289   | 124,059   | 460,771   | 263,057    | 23,526     |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | ▲233,484  | ▲102,383  | ▲32,338   | ▲794,812  | ▲1,088,497 | ▲260,698   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 102,907   | 2,356     | ▲70,960   | 442,782   | 757,699    | 326,512    |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | (千円) | 1,189,908 | 1,025,591 | 1,046,348 | 1,155,091 | 1,087,351  | 1,176,691  |
| 従業員数             | (人)  | 260       | 275       | 281       | 292       | 295        | -          |
| (外、平均臨時雇用者数)     | (人)  | (25)      | (24)      | (23)      | (25)      | (29)       | (-)        |



## < 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先  
管理本部総務部 IR担当  
0791-62-1771 (代表)  
ir-info@kyokuto-sanki.co.jp